

原価計算のシステム化、できていますか？

①原価計算とは

1) 製品は、いくらでできたのかを計算すること

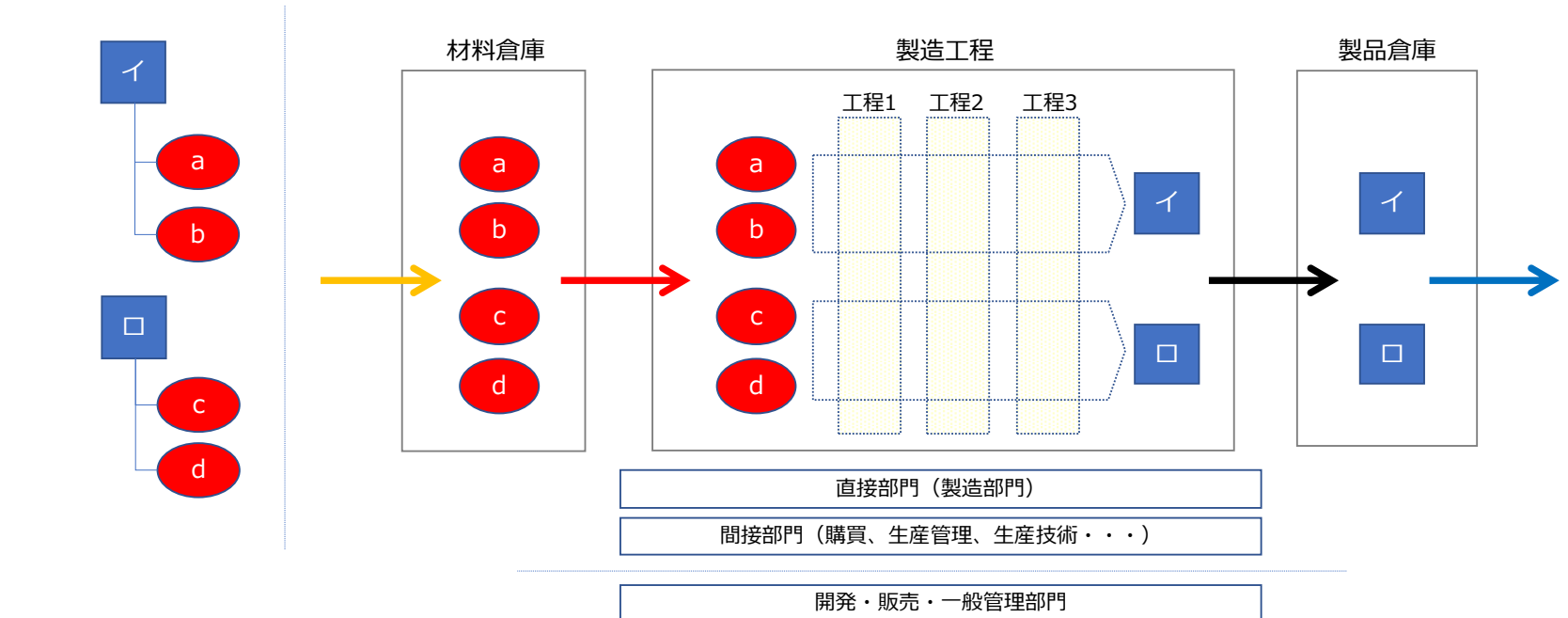
締年月：2021/12

製品	直接材料費	加工費	合計
イ			
ロ			
合計			

2) 製品別の利益を計算すること

締年月：2021/12

製品	売上高	売上原価			売上総利益
		直接材料費	加工費	合計	
イ					
ロ					
合計					



②原価計算をシステム化すると

1)原価計算制度
（原価計算の目的、方法など）を
決めること

2)計算の作業を自動化し、
計算結果をデータベース化すること
・大量データを高速処理

3)経営会計データベースを原価低減活動や
経営の意思決定に活用すること
・業績情報の作成、異常値抽出 など

1)全部原価計算スタイル → 財務目的

管理グループ	管理項目	xxxx/4	xxxx/5	xxxx/6
☒ 全社	売上高			
☐ イ	売上原価			
☐ ロ	売上総利益			
	販売費及び一般管理費			
	営業利益			

選択した管理グループの値を表示

両方必要

2)直接原価計算スタイル → 管理目的（損益分岐点分析 など）

管理グループ	管理項目	xxxx/4	xxxx/5	xxxx/6
☒ 全社	売上高			
☐ イ	売上原価（変動費）			
☐ ロ	付加価値			
	固定費			
	営業利益			

3)未来収益計算

管理グループ	管理項目	過去	現在	未来			
		xxxx/3	xxxx/4	xxxx/5	xxxx/6	xxxx/7	xxxx/8
☒ 全社	売上高						
☐ イ	売上原価（変動費）						
☐ ロ	付加価値						
	固定費						
	営業利益						

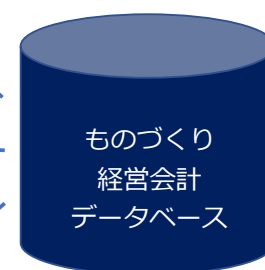
<業績情報の例>

4)標準原価計算

管理グループ	管理項目	xxxx/4	xxxx/5	xxxx/6
☒ 全社	売上高			
☐ イ	売上原価			
☐ ロ	原価差額			
	売上総利益			
	販売費及び一般管理費			
	営業利益			

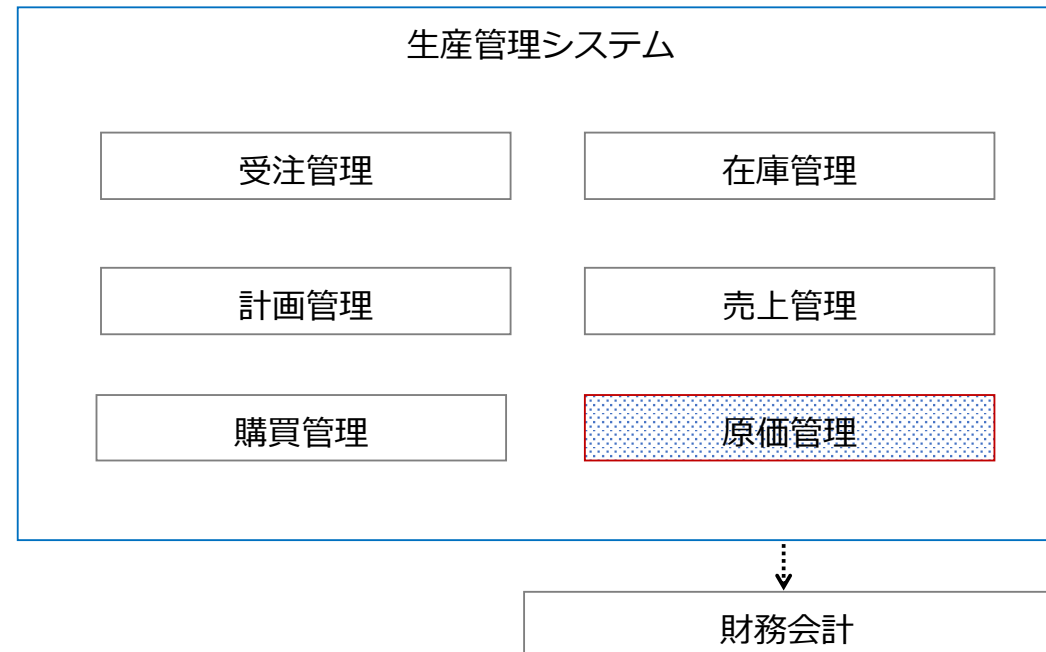
5)損益・キャッシュフロー結合計算書

管理グループ	管理項目	xxxx/4	xxxx/5	xxxx/6
☒ 全社	売上高			
☐ イ	売上原価			
☐ ロ	売上総利益			
	販売費及び一般管理費			
	営業利益			
	在庫			
	在庫増（減）			
	非出金科目金額			
	営業キャッシュフロー			
	利益ポテンシャル（利益：在庫）			



裏面もご覧ください

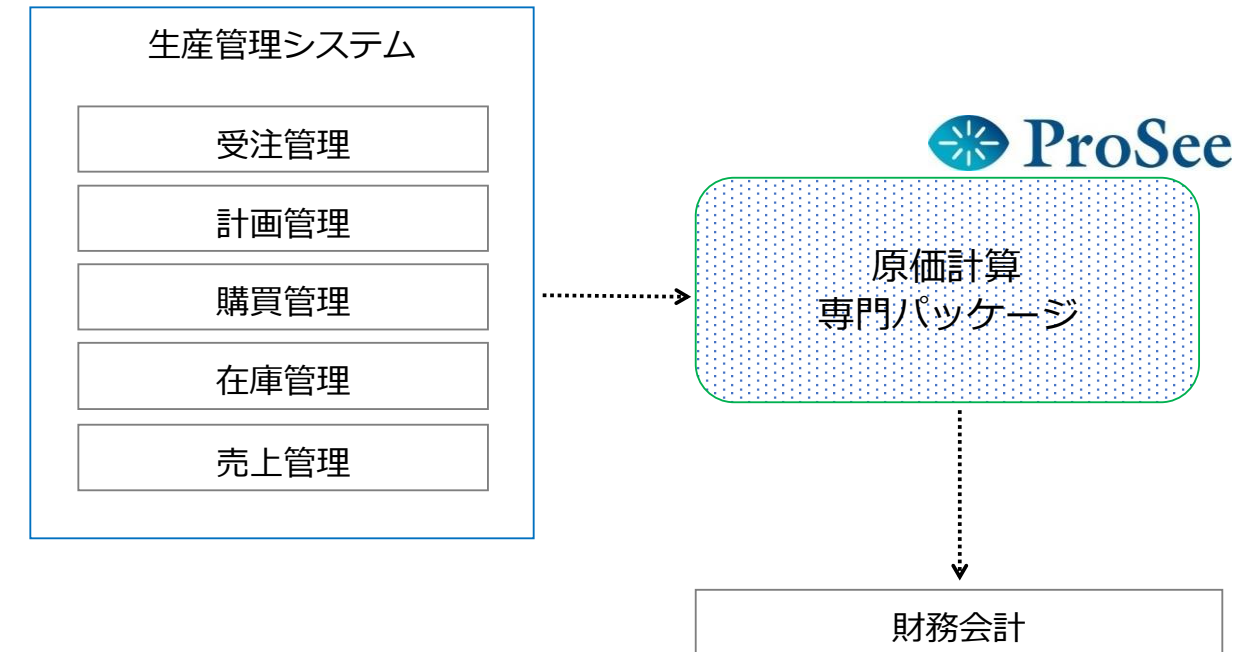
生産管理システムの一部として構築する



- ☐ 経理実務者から見ると機能が不足している。（自社に合わない）
- ☐ パンフレットには原価管理とあるが、「実は個別開発」と言われた。
- ☐ カスタマイズ（開発）が発生する→多額の費用がかかる。
- ☐ 機能が多いパッケージ（ERPなど）は、非常に高額。
- ☐ システム構築に時間がかかる。（原価管理は、後回しにされる）
- ☐ 生産管理システムを入れかえる際には、原価計算のしくみも変える必要がある。
- ☐ ベンダーのSEの原価計算、管理会計に対する知識が不足していると感じる。
- ☐ 運用の小回りがきかない。（経理実務者の都合の良い時に計算ができない）
- ☐ 結局、システムから出力されるデータをExcelで加工することになった。



生産管理システムから分離して
原価計算専門パッケージを使用して構築する



- ☐ 必要にして十分な機能がある。
- ☐ 製造業の経理の実務経験をベースに設計されていて、使い易い。
- ☐ 原価計算に必要なデータ（部品の出庫データなど）を生成することもできる。
- ☐ ノンカスタマイズ（追加の開発なし）で自社に合ったしくみが構築できた。
- ☐ 短期間でシステム化できる。後からの変更、拡張も容易。
- ☐ 生産管理システムが変わっても、同じ原価計算システムが使い続けられる。
- ☐ SEが原価計算、管理会計に詳しい。教育サービスもわかり易い。
- ☐ 生産管理システムの制約をうけず、好きな時に何度でも計算処理ができる。
- ☐ 業績情報の作成までカバーされている。（Excelによる作業がなくなった）



【本件に関する問い合わせは下記まで】